



函商創立百三十周年を迎えて

北海道函館商業高等学校
創立百三十周年記念事業協賛会

会長 中村泰三

北海道函館商業高等学校は、平成28年に創立百三十周年を迎えました。校歌の一節が百二十年（ももふそとせ）から百三十年（もみそとせ）に変わり、又一つ歴史が刻まれたことを実感しております。

「函館商業学校」は、北海道最初の商業学校であり、最初の公立中等学校として誕生致しました。創立時は元町に校舎が設置され、大正十七年に五稜ヶ丘校舎、昭和四十五年に昭和校舎と移り現在に至っております。校是「士魂商才」の建学精神を貫き通し、卒業生は35,000名を超え、地元函館はもとより全国各地、各界において函商同窓生が活躍しております。

これからも先輩の皆様が脈々と築いてこられた函商の歴史と伝統を、後輩たちに継承していく所存でございます。

本日ここに、創立百三十周年記念式典を盛大に挙行できますのも、偏に卒業生の皆様方のご支援ご協力の賜と心より厚く御礼申し上げます。また、快くご協力いただきました企業の皆様、函商父母と教師の会、教職員の皆様に深く感謝申し上げ、ご挨拶といたします。



ご挨拶

北海道函館商業高等学校

第33代校長 大庭 隆

本日は、ご多用のところ、ご来賓並びに同窓生・旧職員・教育関係者の皆様のご臨席を賜り、ここに北海道函館商業高等学校「創立130周年記念式典」を挙行できますことを、心より厚くお礼申し上げます。

本校は、「士魂商才」を校是に掲げ、社会の変遷に沿いながら、これまで本道における商業教育の先達としての役割を果たしてきました。ここに130年の長きにわたり年輪を刻み、地域経済界をはじめ、全国各地に3万5千名を超える有為な人材を輩出し、実業界、文化、スポーツなど、あらゆる分野において素晴らしい活躍をされており、我が国の経済社会の発展に大きく貢献してまいりました。

これまで、幾多の困難を勇気と英知をもって克服し、商業教育の歩みを止めることなく、本校の発展に輝かしい歴史を刻んでこられた同窓生・教職員の皆様に敬意を表するとともに感謝の念でいっぱいです。

創立130周年を契機として、生徒の皆さんには、全道一の歴史と伝統を誇る名門校「函商」に学んでいることを誇りとし、良き伝統を継承するとともに、自己を高める機会にしてほしいと考えております。また、本校の歴史と伝統の重みを充分認識して、在校生・教職員一丸となって鋭意努力し、地域から人材育成で高く評価される学校を目指し、我が国の商業教育の充実発展に努める所存です。

結びに、創立130周年記念事業にご尽力いただきました、中村泰三同窓会長様はじめ関係者の皆様に心よりお礼を申し上げ、ご挨拶といたします。